

第 134 回東邦医学会例会プログラム

平成 21 年 6 月 11 日(木) 午後 1 時～5 時 15 分

平成 21 年 6 月 12 日(金) 午後 1 時～6 時 50 分

東邦大学医学部大森臨床講堂(5号館 B1)

6月11日(木)

開会の辞 _____ 微生物・感染症学教授 山口恵三

A. 大学院学生研究発表

(発表:各10分,討論:各5分)

座長: 渋谷和俊教授(大森病院病理学)1～3席(1:00-1:45)

1. 播種性カンジダ症の新しい治療戦略に関する基礎的検討
細野なつ絵(機能系),指導教授:山口恵三教授(微生物・感染症学)
2. 緑膿菌由来 tetramic acid の抗菌活性の解明
上田千尋(機能系),指導教授:山口恵三教授(微生物・感染症学)
3. 性犯罪被害者に対する被害者保護に関する後ろ向き調査
金村良治(外科系),指導教授:森田峰人教授(大森産科婦人科)

座長: 石井壽晴教授(病理学)4～6席(1:45-2:30)

4. 胆嚢癌予後規定因子としての浸潤性微小乳頭構造の特性
原 精一(内科系),指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)
5. 精選した遺伝子を搭載した DNA チップおよび quantitative real-time PCR による遺伝子発現からみた胃癌組織診断の試み
渡邊慶太(内科系),指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)
6. C 型慢性肝炎患における肝実質のスペックルシグナルの統計的解析を応用したカラーイメージと肝組織の比較検討
中島早苗(内科系),指導教授:住野泰清教授(大森消化器内科)

座長: 水谷一裕教授(第2整形外科)7～9席(2:30-3:15)

7. 都市部と農村部における大腿骨頸部/転子部骨折の比較
林 真仁(社会医学系),指導教授:杉田 稔教授(衛生学)
8. 上肢関節運動にともなう筋振動刺激および皮膚冷刺激が運動制御に及ぼす影響
関 博之(機能系),指導教授:室 増男教授(体育学)
9. 腰椎椎間板ヘルニアに対する従来法と MED 法の侵襲性の評価
原 学(外科系),指導教授:勝呂 徹教授(第1整形外科)

座長: 勝呂 徹教授(第1整形外科)10～12席(3:15-4:00)

10. 関節リウマチ患者における血清 adipokine の意義
吉野 匠(内科系),指導教授:川合眞一教授(大森膠原病)
11. 関節リウマチに対するタクロリムス使用における有害反応の特徴
秋元貴美子(内科系),指導教授:川合眞一教授(大森膠原病)
12. ラット yeast 誘発炎症モデルにおける低出力レーザー照射の効果
砂川隆英(外科系),指導教授:水谷一裕教授(第2整形外科)

座長:相川 厚教授(腎臓学)13~15席(4:00-4:45)

13. マウス S100A11 の生殖器における機能解析

花上まゆ(機能系), 指導教授:高松 研教授(細胞生理学)

14. 腎後性腎不全症例における血中シスタチン C 値の臨床的検討:今後の臨床的応用の可能性

永田雅人(外科系), 指導教授:石井延久教授(大森泌尿器科)

15. 2型糖尿病合併メタボリックシンドローム症例の動脈硬化進展リスクの評価:small dense LDL-Cと頸動脈内膜中膜複合体肥厚度およびプラークスコアの観点から

松本知子(内科系), 指導教授:芳野 原教授(大森糖・代・内)

座長:坪井康次教授(心身医学)16~18席(4:45-5:30)

16. 自記式身体活動調査票の妥当性と信頼性:厚生労働省研究班による多目的コホート研究(JPHC Study)より

今井(武田)富士美(社会医学系), 指導教授:杉田 稔教授(衛生学)

17. 丹田呼吸法が前頭前野の血流,脳波と気分に与える影響:セロトニン神経の関与

于 新軍(機能系), 指導教授:有田秀穂教授(統合生理学)

18. 発散的思考課題試行中の統合失調症患者の脳血流変化について

武士清昭(内科系), 指導教授:水野雅文教授(精神神経医学)

6月12日(金)

当番教室:細胞生理学 / 腎臓学

B. 一般講演

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長:中野弘一教授(卒後臨床研修/生涯教育センター)1~3席(1:00-1:27)

1. 血中インドキシル硫酸濃度は慢性腎臓病の進行予知因子として有用である(7分)

○難波俊二, 奥田優子, 小島鉄巳(大森臨床検査部)

盛田俊介(大森臨床検査医学)

2. 大森病院循環器内科におけるシミュレーターを用いた聴診実習の現状と今後の方向性(7分)

並木 温, 山崎純一(大森循内), 盛田俊介, 坪井康次, 高松 研(教育委員会)

3. CBM 実習で学生が学ぶ要因に関する検証(7分)

松崎淳人, 菊池由宣, 中野弘一(卒後臨床研修/生涯教育セン)

座長:名取一彦准教授(大森血液・腫瘍科)4~5席(1:27-1:45)

4. 肥大型骨関節症を合併した高悪性度B細胞リンパ腫の1例(7分)

○黒田敏久, 力武はぎの, 若林 徹, 岡田倫明, 田邊雅章, 川嶋健吾, 吉田泰司, 松澤康雄,

川島辰男, 白井厚治(佐倉内科), 蛭田啓之, 亀田典章(佐倉病院病理)

5. 精巣上体炎を伴った血管性紫斑病の1例(7分)

○岡 祐輔, 石渡誉郎, 神戸茂樹, 永田雅人, 山辺史人, 原啓, 高杉啓一郎, 小林秀行, 石井玄一,

田中祝江, 永尾光一, 石井延久(大森泌尿器), 松岡正樹, 三井一賢(1小児)

座長:住野泰清教授(大森消化器内科)6~8席(1:45-2:12)

6. クロウン病に対する術式決定における造影 MD-CT を用いた病変部質的診断の有用性(7分)

○岡住慎一, 長島 誠, 木下敬弘, 大城 充, 大城崇司, 杉下有為, 二本柳康博, 田中 宏,

吉田 豊, 瓜田 祐, 森山彩子, 高木隆一, 北原知晃, 加藤良二(佐倉外科)

7. 院内口腔外科依頼の現況(第1報)口腔感染源精査について(7分)

○三神奈緒子, 久保田玲子, 関谷秀樹, 福井暁子, 塚越 好,
関本桂子, 高橋絵美, 工藤泰一(口外)

8. 硬膜転移によって慢性硬膜下血腫をきたした2例(7分)

○北島 悟, 福島大輔, 原田直幸, 根本匡章, 周郷延雄(1脳)
黒木貴夫, 長尾建樹(佐倉脳外)
大久保陽一郎, 羽鳥 努, 渋谷和俊(大森病院病理)

座長: 山崎純一教授(大森循環器内科)9~10席(1:54-2:12)

9. アセトアミノフェン誘導性肝障害におけるJNKシグナルの役割(7分)

○篠原美絵, 石井耕司, 住野泰清(大森消内)

10. 東邦大学羽田空港クリニックの現況と将来(7分)

○坪井久美子, 長谷川裕子, 靱山浩一(羽田クリニック)

C. 平成20年度プロジェクト研究報告

(発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 山口恵三教授(微生物・感染症学)11~14席(2:30-3:10)

11. 腸内細菌科シトロバクター属菌の薬剤耐性遺伝子リザーバとしての役割に関する研究(8分)

嵯峨知生, 石井利明(微生・感染)

12. 肺炎球菌性肺炎の重症化に関わる新規疾患感受性遺伝子の探索(8分)

木村聡一郎(微生・感染), 田邊雅章(佐倉内科)

13. 家畜糞便、食肉汚染および臨床材料から分離された抗菌薬耐性菌に関する研究(8分)

石井良和(微生・感染), 宮崎泰斗(大森呼内)

14. レジオネラ肺炎高酸素曝露下における重症化機序の解明と新規治療法に関する基礎的検討(8分)

森 伸晃(微生・感染), 前田 正(総診)

座長: 遠藤平仁准教授(大森膠原病)15~17席(3:10-3:40)

15. 関節リウマチの滑膜細胞を標的としたタクロリムスの作用機序の研究(8分)

北原加奈子(大森免疫), 鎗田利香(1整)

16. リウマチ膠原病疾患患者の長期予後に関する観察研究(8分)

高木賢治(大森膠原病), 鳥畑秀子(1整)

17. 膠原病疾患患者における血清アディポカインの意義(8分)

楠 芳恵, 村岡 成(大森膠原病)

座長: 逸見仁道准教授(分子生物学)18~20席(3:40-4:10)

18. DNA結合増強因子p29と相互作用する転写因子の探索(8分)

○有田通恒(分生), 菊池由宣(卒後臨研/生涯教育セン)

19. 皮膚創傷治癒におけるCD34/LSP-1陽性Fibrocyte発現性(8分)

猪股直美, 山田哲朗, 遠藤剛史(大森形成)

20. 子宮頸部腫瘍発がんの分子機構に関する検討(8分)

田岡英樹, 浅川恭行(大橋産婦)

D. 特別講演

座長: 朽久保哲男教授 (第1眼科) 21席(4:10-4:40)

21. 最近の緑内障の考え方(30分)

眼科学第2講座(大橋)教授 富田剛司

座長: 住野泰清教授 (大森消化器内科) 22席(4:40-5:10)

22. 炎症性腸疾患診療の進歩: 新治療戦略構築へ向けて (30分)

佐倉病院内科学講座教授 鈴木康夫

シンポジウム (5:10-6:50)

企画・担当: 細胞生理学 / 腎臓学

再生・移植医療の最前線

司会: 高松 研教授(細胞生理学), 相川 厚教授(腎臓学)

1. 細胞移植再生医療実現の可能性: 移植用幹細胞材料の安全性の確認(40分)
中村雅登教授(東海大学医学部基盤診療学, 病理診断学・再生医療科学)
 2. 神経幹細胞による機能再建(20分)
浜之上 誠(細胞生理学)
 3. Rituximabを投与し, 脾摘を回避した ABO 不適合腎移植(20分)
河村 毅(腎臓学)
- 討論(20分)

閉会の辞 _____ 腎臓学教授 相川 厚

- 1) 大学院学生研究発表, 一般講演, プロジェクト研究報告の演者の先生は, 必ず例会当日までに「雑誌掲載用講演抄録」(400字程度)と「*Keywords」(英語3語以内)を出力紙とデータ(FD・USB等)を受付にご提出になるか, e-mailにてデータ添付でお送りください(E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywordsは東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
 - 2) 企画シンポジウムご講演の先生は, 例会当日より4週間以内に3200字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。
 - 3) 特別講演の先生は, 例会当日より4週間以内に4000字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
- 1~3とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。2,3につきましては, 詳細を受付におたずねください。